

令和6年度 広島市心身障害者福祉センター
ボッチャ交流会
競技規則と申し合わせ事項

本大会は、同年度の全国障がい者スポーツ大会ボッチャ競技規則および、本交流会申し合わせ事項に定める内容に沿い、実施されるものとする。

1 試合方式

- (1)4チームによる予選リーグを行い、その後1位リーグ、2位リーグ、3位リーグ、4位リーグの決勝リーグに分け順位を決定する。(申し込み状況により変更の可能性あり)
- (2)競技は、ペア戦とする。
- (3)各チームの持ち時間(投球時間)は定めないが、遅延行為は主審から注意する。
- (4)1エンドずつの得点を積み上げていき、2エンドの合計得点で勝敗を決める。
- (5)2エンド終了時、同点の場合は各チームの代表1名による、ファイナルショットで勝敗を決める。

2 対象者

小学生以上の視覚障がい者を除く障がいのある人、および障がいのない人。(健常者同士のペアは申込不可)

3 表彰

それぞれのリーグの1位を表彰することとする。

4 コート

- (1)コートの大きさは、12.5m×6mとする。(10m×6mに縮小する場合あり)
- (2)競技で使用するスローイングボックスは2番3番4番5番とする。

5 用具

(1)ボール

・全国障がい者スポーツ大会ボッチャ競技規則に準ずるボールを使用する。個人所有のボール使用可。

(2)競技補助具(ランプ等)

・選手持参のものを使用してもよい。無い選手はセンターが用意したものを使用する。
・ランプの大きさ等については、全国障害者スポーツ大会ボッチャ競技規則に準ずるものとする。

(3)その他使用希望器具について

・その他競技を行う際に使用希望の道具については、センターへ相談・問い合わせをして許可をとり、使用すること。

6 チーム編成について

・障がいの程度の重い選手や必要な方には競技アシスタントをつけることができる。
・競技アシスタント※¹ および ランプオペレーター※² は、参加選手自身で用意すること。
・競技アシスタントおよびランプオペレーターをつける場合は、申込用紙に記名すること。
・競技アシスタントは、ペアの人が兼ねることができるが、ランプオペレーターは兼ねることはできない。

7 ゲーム進行

※¹ 競技アシスタントとは障害の重い方の移動支援や車いすの方向転換、ボール渡しなどのサポートをする人

※² ランプオペレーターとは、ランプ操作をサポートをする人

- (1)スローイングボックスは、赤:2・3ボックス 青:4・5ボックスを使用する。
- (2)投球練習は、第1エンド前のみ3球ずつ行うことができる。
- (3)各ペアの一方がジャンケンまたはコイントスをし、勝った方が先攻・後攻を選択し、負けたペアはその残りとする。
- (3)先攻が、白玉(ジャックボール)投球後、続いて第1投(赤ボール)を投じて後攻ペアと投球交代し、後攻ペアが、投球(青ボール)する。以後、ジャックボールから1番遠いペアが投球を行い、両ペアの投球ボールが無くなった時点でエンドの終了となる。第2エンドは、先攻、後攻を交代して試合を行う。ジャックボールの投球は、投球ボックス3番4番に入っている選手が原則行う。

8 違反行為について

- (1)投球ボックス内での違反行為取り扱いについて、①注意→②警告→③リトラクションと段階を設定し取り扱う。ただし、相手の投球を妨害するような、過度な行為には①警告、②リトラクション等の対応をする。(競技アシスタント、ランプオペレーターも同様とする)
- (2)今交流会は、ボッチャ競技の普及と交流が目的であるため、細かなルールなどは、審判を通し選手に伝達をする場合がある。
- (3)その他違反行為については、日本ボッチャ協会競技規則および、全国障がい者スポーツ大会ボッチャ競技規則に照らし合わせながら、交流会の趣旨に合う形で柔軟に判断して決定していく。

9 特別ルール及び申し合わせ事項

- (1)ランプ使用選手以外の方でも、競技アシスタントが選手に対してボールの受け渡し及び選手の移動支援等を投球ボックスに入ってサポートをすることができる。ただし、戦略に関するアドバイス(具体的な投球場所など)をすることはしてはいけない。アドバイスなどの違反行為があった場合は①注意→②警告→③リトラクションとする。
- (2)リーグ順位決定の優先基準として、①勝利数 ②合計得点数 ③直接対決結果 の順番で順位決定を行う。
- (3)ランプオペレーター向けにランプ使用方法等の指導は試合前のウォームアップでは行わない。ランプ使用方法等の指導を希望する方は、試合前に設定している練習・講習時間内で申し出ること。
- (4)次の試合予定の選手は、必ず自分の席にて待機しておくこと。

10 その他

- ①個人での申し込みの場合、ペアは主催者が決定する。
- ②障がいの有無・種類・程度等は問わないが、参加にあたっては医療機関の診察を受けるなど、自己の責任において健康と安全について十分留意すること。
- ③競技中の事故については、応急処置あるいは救急搬送依頼のみとする。
- ④昼食および水分補給のためのドリンク等は各自で用意し共用しない。
- ⑤大会プログラム等に個人情報(氏名、障害名)および館内掲示による大会報告等に競技中の写真を掲載することがあるので、了承の上参加すること。